

議案第 33 号

清水辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について

清水辺地に係る公共的施設の総合整備の変更について、辺地に係る公共的施設の総合整備のための財政上の特別措置等に関する法律第 3 条第 1 項の規定により議会の議決を求める。

平成 27 年 3 月 3 日提出

多可町長 戸 田 善 規

(第1号様式)

総合整備計画

兵庫県多可郡多可町加美区清水辺地
(辺地の人口345人 面積8.7k m²)

1 辺地の概況

- (1) 辺地を構成する町又は字の名称 加美区清水
- (2) 地域の中心の位置 加美区清水字長オサ 446番地
- (3) 辺地度数 115点

2 公共的施設の整備を必要とする事情

(町道清水18号線道路改良)

改良延長は75mで現状の幅員は4.0mである。

当該道路は、集落内を東西に走る道路であり、一方は畑、一方は宅地に接している。特に宅地側において、路肩の傷みが見受けられるため、路肩の改修と併せて水路の修繕を行う。

今回整備することにより、地域住民の通行の安全を確保すると共に、生活環境の改善を図る。

(町道清水9号線道路改良)

改良延長は112mで現状の幅員は3.5mである。

当該道路は、清水公会堂から神姫バス停留所までの間を東西に走る道路である。清水にはバス停が2カ所あり、特に杉原側から東に位置する家の住民また児童生徒はこの道を通ってバスに乗っている。しかしながら、未舗装のため降雨時には水溜まりが出来やすく、また、砂利道で歩きにくいことから今回整備を行い、地元住民の通行の安全を確保するとともに、生活環境の改善を図る。

(町道清水1号線道路改良)

改良延長は62mで現状の幅員は3.5mである。

当該道路は道路肩と屋敷までの高低差が約2mあり、野面石積で施行されているが、老朽化により「はらみ」状態となっている。また、道路の下を水が走っているためか、過去に内部が空洞化し陥没した経緯もある。石積みが崩れると民家にも影響を与えることとなるため、今回整備することにより、地元住民の通行と生活の安全を確保する。

(町道清水10号線道路新設)

国道427号から東へ入る道路で、北部体育館から杉原川沿いの堤防を北進する道路に接続する計画である。新規延長は140mで現状は行き止まりであるが、合併前後に途中まで一部幅員を4mに改良した経緯がある。

今回、道路を延伸し、通り抜け可能な道路に整備することにより、車両等の通行の安全の確保並びに、地元住民の生活環境の改善を図る。

(町道清水37号線道路改良)

改良延長は400mで現状の幅員は4.0mである。

本町道は、平成26年度に開通予定の主要地方道丹波加美線へのアクセス道路であり、周辺の集落からは唯一の接続町道となる。主要地方道丹波加美線は清水坂トンネルの整備により、北近畿豊岡自動車道氷上インターまでの所要時間や、県立柏原病院への搬送時間の短縮が可能となることから住民の期待は大きい。本町道を整備することにより、地元住民の安全・安心な生活環境の確保を図る。

【変更追加】**(清水地区獣害防止柵設置)**

野生鳥獣による農作物等の被害は、近年深刻な状況となっている。現在でも、野生動物侵入防止対策を行っているが、農家単位で「点」的に個々に行われている。しかし、増加するシカやイノシシに対しての有効性は低くなっており、集落単位等「面」的な防護柵が必要となっている。そのため、面的に金網防護柵を設置することにより、野生動物の侵入による農作物被害の拡大を防止し、地域住民の生活改善を図る。

3 公共的施設の整備計画

【変更前】

平成23年度から平成27年まで 5年間

(単位 千円)

施設名	事業主体	事業費	財源内訳		一般財源のうち辺地対策事業債の予定額
			特定財源	一般財源	
町道清水18号線道路改良	多可町	4,000		4,000	4,000
町道清水9号線道路改良	多可町	2,000		2,000	2,000
町道清水37号線道路改良	多可町	30,000		30,000	30,000
町道清水1号線道路改良	多可町	10,000		10,000	10,000
町道清水10号線道路新設	多可町	12,000		12,000	12,000
合計		58,000		58,000	58,000

【変更後】

平成23年度から平成27年まで 5年間

(単位 千円)

施設名	事業主体	事業費	財源内訳		一般財源のうち辺地対策事業債の予定額
			特定財源	一般財源	
町道清水18号線道路改良	多可町	4,000		4,000	4,000
町道清水9号線道路改良	多可町	2,000		2,000	2,000
町道清水37号線道路改良	多可町	30,000		30,000	30,000
町道清水1号線道路改良	多可町	10,000		10,000	10,000
町道清水10号線道路新設	多可町	12,000		12,000	12,000
農業近代化施設	多可町	11,000		11,000	11,000
合計		69,000		69,000	69,000

(別表第1) 年次別計画表

市町名 多可町 辺地名 清水 (単位: 千円)

【変更前】

事業名	事業内容	全 体				23年度			
		事業費	財源内訳		辺地対策 事業債	事業費	財源内訳		辺地対策 事業債
			特定財源	一般財源			特定財源	一般財源	
町道清水18号線道路改良	道路改良工事 L=75m	4,000		4,000	4,000	4,000		4,000	4,000
町道清水9号線道路改良	道路改良工事 L=112m	2,000		2,000	2,000				
町道清水37号線道路改良	道路改良工事 L=400m	30,000		30,000	30,000				
町道清水1号線道路改良	道路改良工事 L=62m	10,000		10,000	10,000				
町道清水10号線道路改良	道路改良工事 L=140m	12,000		12,000	12,000				

24年度				25年度				26年度				27年度			
事業費	財源内訳		辺地対策 事業債	事業費	財源内訳		辺地対策 事業債	事業費	財源内訳		辺地対策 事業費	事業費	財源内訳		辺地対策 事業債
	特定財源	一般財源			特定財源	一般財源			特定財源	一般財源			特定財源	一般財源	
2,000		2,000	2,000												
				30,000		30,000	30,000								
								10,000		10,000	10,000				
								5,000		5,000	5,000	7,000		7,000	7,000

(別表第1) 年次別計画表

市町名 多可町 辺地名 清水 (単位：千円)

【変更後】

事業名	事業内容	全 体			23年度				
		事業費	財源内訳		辺地対策 事業債	事業費	財源内訳		辺地対策 事業債
			特定財源	一般財源			特定財源	一般財源	
町道清水18号線道路改良	道路改良工事 L=75m	4,000		4,000	4,000	4,000		4,000	4,000
町道清水9号線道路改良	道路改良工事 L=112m	2,000		2,000	2,000				
町道清水37号線道路改良	道路改良工事 L=400m	30,000		30,000	30,000				
町道清水1号線道路改良	道路改良工事 L=62m	10,000		10,000	10,000				
町道清水10号線道路改良	道路改良工事 L=140m	12,000		12,000	12,000				
農業近代化施設	鳥獣害防止柵L=2,000m	11,000		11,000	11,000				

24年度				25年度				26年度				27年度			
事業費	財源内訳		辺地対策 事業債	事業費	財源内訳		辺地対策 事業債	事業費	財源内訳		辺地対策 事業費	事業費	財源内訳		辺地対策 事業債
	特定財源	一般財源			特定財源	一般財源			特定財源	一般財源			特定財源	一般財源	
2,000		2,000	2,000												
				30,000		30,000	30,000								
								10,000		10,000	10,000				
								5,000		5,000	5,000	7,000		7,000	7,000
												11,000		11,000	11,000

(別表第2) 辺地総合整備計画策定に係る理由書

市町名	多可町	辺地名	清水
(町道清水18号線道路改良) <p>改良延長は75mで現状の幅員は4.0mである。 当該道路は、集落内を東西に走る道路であり、一方は畑、一方は宅地に接している。特に宅地側において、路肩の傷みが見受けられるため、路肩の改修と併せて水路の修繕を行う。 今回整備することにより、地域住民の通行の安全を確保すると共に、生活環境の改善を図る。 事業年度 平成23年度 事業費 4,000千円</p>			
(町道清水9号線道路改良) <p>改良延長は112mで現状の幅員は3.5mである。 当該道路は、清水公会堂から神姫バス停留所までの間を東西に走る道路である。清水にはバス停が2カ所あり、特に杉原側から東に位置する家の住民また児童生徒はこの道を通ってバスに乗っている。しかしながら、未舗装のため降雨時には水溜まりが出来やすく、また、砂利道で歩きにくいことから今回整備を行い、地元住民の通行の安全を確保するとともに、生活環境の改善を図る。 事業年度 平成24年度 事業費 2,000千円</p>			
(町道清水1号線道路改良) <p>改良延長は62mで現状の幅員は3.5mである。 当該道路は道路肩と屋敷までの高低差が約2mあり、野面石積で施行されているが、老朽化により「はらみ」状態となっている。また、道路の下を水が走っているためか、過去に内部が空洞化し陥没した経緯もある。石積みが崩れると民家にも影響を与えることとなるため、今回整備することにより、地元住民の通行と生活の安全を確保する。 事業年度 平成26年度 事業費 10,000千円</p>			
(町道清水10号線道路新設) <p>国道427号から東へ入る道路で、北部体育館から杉原川沿いの堤防を北進する道路に接続する計画である。新規延長は140mで現状は行き止まりであるが、合併前後に途中まで一部幅員を4mに改良した経緯がある。 今回、道路を延伸し、通り抜け可能な道路に整備することにより、車両等の通行の安全の確保並びに、地元住民の生活環境の改善を図る。 事業年度 平成26年度～平成27年度 事業費 12,000千円</p>			

市町名	多可町	辺地名	清水
<p>(町道清水37号線道路改良)</p> <p>本町道は、平成26年度に開通予定の主要地方道丹波加美線へのアクセス道路であり、周辺の集落からは唯一の接続町道となる。主要地方道丹波加美線は清水坂トンネルの整備により、北近畿豊岡自動車道氷上インターまでの所要時間や、県立柏原病院への搬送時間の短縮が可能となることから住民の期待は大きい。本町道を整備することにより、地元住民の安全・安心な生活環境の確保を図る。</p> <p>事業年度 平成25年度 事業費 30,000千円</p> <p>【変更追加】</p> <p>(清水地区獣害防止柵設置)</p> <p>野生鳥獣による農作物等の被害は、近年深刻な状況となっている。現在でも、野生動物侵入防止対策を行っているが、農家単位で「点」的に個々に行われている。しかし、増加するシカやイノシシに対しての有効性は低くなっており、集落単位等「面」的な防護柵が必要となっている。そのため、面的に金網防護柵を設置することにより、野生動物の侵入による農作物被害の拡大を防止し、地域住民の生活改善を図る。</p> <p>事業年度 平成27年度 事業費 11,000千円</p> <p>【変更理由】</p> <p>農林水産省の交付金事業（鳥獣被害防止総合対策事業）では、予算割当が少なく、部分的な整備では事業目的が達成できないため、辺地計画を変更し、全面的な事業実施としたい。</p>			

(資料1)

辺地総合整備計画策定の概要調書

市町名 多可町 担当課名 総務課 高見昌宏

事業名	施設規模・内容等	受益戸数	現状幅員	現状観光入込数	見込観光入込数	説明
清水18号線道路改良	道路改良 L=75m	104	W=4.0m			改良延長は7.5mで現状の幅員は4.0mである。 当該道路は、集落内を東西に走る道路であり、一方は畑、一方は宅地に接している。特に宅地側において、路肩の傷みが見受けられるため、路肩の改修と併せて水路の修繕を行う。 今回整備することにより、地域住民の通行の安全を確保すると共に、生活環境の改善を図る。
町道清水9号線道路改良	道路改良 L=112m	104	W=3.5m			改良延長は11.2mで現状の幅員は3.5mである。 当該道路は、清水公会堂から神姫バス停留所までの間を東西に走る道路である。清水にはバス停が2カ所あり、特に杉原側から東に位置する家の住民また児童生徒はこの道を通ってバスに乗っている。しかしながら、未舗装のため降雨時には水溜まりが出来やすく、また、砂利道で歩きにくいことから今回整備を行い、地元住民の通行の安全を確保するとともに、生活環境の改善を図る。
町道清水37号線道路改良	道路改良 L=400m	104	W=4.0m			本町道は、平成26年度に開通予定の主要地方道丹波加美線へのアクセス道路であり、周辺の集落からは唯一の接続町道となる。主要地方道丹波加美線は清水坂トンネルの整備により、北近畿豊岡自動車道水上インターまでの所要時間や、県立柏原病院への搬送時間の短縮が可能となることから住民の期待は大きい。本町道を整備することにより、地元住民の安全・安心な生活環境の確保を図る。
町道清水1号線道路改良	道路改良 L=62m	104	W=3.5m			改良延長は6.2mで現状の幅員は3.5mである。 当該道路は道路肩と屋敷までの高低差が約2mあり、野面石積で施行されているが、老朽化により「はらみ」状態となっている。また、道路の下を水が走っているためか、過去に内部が空洞化し陥没した経緯もある。石積みが崩れると民家にも影響を与えることとなるため、今回整備することにより、地元住民の通行と生活の安全を確保する。
町道清水10号線道路改良	道路改良 L=140m	104	W=4.0m			国道427号から東へ入る道路で、北部体育館から杉原川沿いの堤防を北進する道路に接続する計画である。新規延長は140mで現状は行き止まりであるが、合併前後に途中まで一部幅員を4mに改良した経緯がある。 今回、道路を延伸し、通り抜け可能な道路に整備することにより、車両等の通行の安全の確保並びに、地元住民の生活環境の改善を図る。

清水地区獣害防止柵設置	L=2,000m H=2.0m	101			野生鳥獣による農作物等の被害は、近年深刻な状況となっている。現在でも、野生動物侵入防止対策を行っているが、農家単位で「点」的に個々に行われている。しかし、増加するシカやイノシシに対しての有効性は低くなっており、集落単位等「面」的な防護柵が必要となっている。そのため、面的に金網防護柵を設置することにより、野生動物の侵入による農作物被害の拡大を防止し、地域住民の生活改善を図る。
-------------	--------------------	-----	--	--	--